

2019年7月30日

株式会社 リクルートマーケティングパートナーズ

ブライダル総研 婚活実態調査2019

- ✓ **婚活サービスを通じて結婚した人の割合は12.7%で過去最高に。ネット系婚活サービスがさらに浸透している**
- ✓ **恋愛・結婚意向のある独身者の約4人に1人が婚活サービスの利用経験があり、婚活サービスが一般化しつつある**

※婚活サービス：結婚相談所、ネット系婚活サービス、婚活パーティ・イベントの3サービス

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ(本社:東京都品川区 代表取締役社長 柏村 美生)が運営するリクルートブライダル総研では、婚活の実態について詳細を把握するために、「婚活実態調査2019」を実施しました。ここに、調査結果の要旨をご報告いたします。

<婚活サービスを通じて結婚した人の状況>.....P3-5

- ◆ 2018年婚姻者のうち、婚活サービスを通じて結婚した人は12.7%と過去最高に。中でもネット系婚活サービスを通じて結婚する割合の増加が特徴的。
- ◆ 2018年婚姻者のうち、婚活サービスを利用していた人は32.3%と過去最高に。さらに、婚活サービス利用者に限ってみると、婚活サービスを通じて結婚した人の割合は39.4%と引き続き高い水準を維持。

<独身者の婚活サービスの利用状況>.....P6-8

- ◆ 婚活サービス利用経験割合は23.5%と約4人に1人が婚活サービス利用経験があり、2017年調査より増加。(2017年15.6%→2018年18.1%→2019年23.5%)
いずれの性年代においても利用経験割合が増加していることが特徴的。
- ◆ 婚活サービスごとに利用経験割合をみると、ネット系婚活サービスが伸長し、全体を底上げしている。
- ◆ 婚活サービスごとに性年代別の利用経験割合をみると、20代・30代で男女ともネット系婚活サービスが他の婚活サービスと比較し高い。一方で、40代の女性においては、婚活パーティ・イベントの利用経験割合が他のサービスと比較し高い。

<独身者の婚活サービスに対するイメージ>.....P9

- ◆ 婚活サービスに対するイメージは利用経験者と非利用経験者で差がみられる。婚活サービス利用経験者は、非利用経験者と比較し、「今後、婚活(恋愛)サービスを利用する人は、周りで増えていきそう」など、前向きに捉えている割合が高い。一方で、非利用経験者は「婚活(恋愛)サービスは面倒くさいと思う」など前向きではない割合が高い。

<独身者の婚活サービス成功者の特徴>.....P10

- ◆ 婚活サービス利用者の中で成功(※)した層はどの婚活サービスにおいても利用頻度が高い。利用頻度の高さで婚活サービスにおいての成功は関係が深い。

※成功とは「恋人ができた」「婚約できた」「結婚できた」のいずれか

◆ 出版・印刷物へデータを転載する際には、「婚活実態調査2019(リクルートブライダル総研調べ)」と明記いただきますようお願い申し上げます。

◆ 「婚活実態調査2019」の詳細は、下記広報担当までご連絡ください。

リクルートマーケティングパートナーズではこれからも、ひとりひとりにあった「まだ、ここにない、出会い。」を届けることを目指してまいります。

【本件に関するお問い合わせ先】
株式会社リクルートマーケティングパートナーズ
https://www.recruit-mp.co.jp/support/press_inquiry/

【調査概要】

■2019年調査(2018年のデータ) 1次調査

【調査方法】 インターネットによるアンケート調査

【調査期間】 2019年5月20日(月)～2019年5月27日(月)

【調査対象】 全国の20～49歳の男女

【有効サンプル数】 50,000サンプル

(調査にて120,035サンプルを回収し、その中から平成27年度国勢調査をもとに、未既婚×性別×年代(5歳刻み)24セルの人口構成比に合わせて50,000サンプルを抽出した)

■2019年調査 2次調査

【調査方法】 インターネットによるアンケート調査

【調査期間】 2019年5月27日(月)～2019年5月31日(金)

【調査対象】 <共通条件>

全国の20～49歳の男女で現在独身者(1次調査回答者)

※独身者とは、結婚経験のない未婚者および結婚経験のある(死別・離別の)現在未婚者

<個別条件>

・婚活サービス利用者(現在利用者・過去利用者):直近3年以内に婚活サービスを利用したことがある人

・婚活サービス非利用者:婚活サービスを利用したことがなく、「恋愛意向」もしくは「結婚意向」がある人

【有効サンプル数】 2,400サンプル

本調査では、婚活サービス利用有無・性別・年代・未婚状況別に定数にてサンプルを回収し、集計の際に、実際の婚活サービス利用有無(1次調査)、性別・年代・未婚状況別の人口構成(平成27年総務省統計局国勢調査)に合わせるために、サンプルに重みづけをおこなった(ウェイトバック集計)

ウェイトバックに使用した補正値は、1次調査を用いて各セルの出現率をもとに算出した

<本調査回収サンプル構成>

利用者								非利用者							
結婚経験なし						結婚経験あり(死別・離別)		結婚経験なし				結婚経験あり(死別・離別)			
子なし						子あり		子なし				子あり			
男性			女性			男性	女性	男性		女性		男性		女性	
20代	30代	40代	20代	30代	40代	20～40代	20～40代	20代	30代	40代	20代	30代	40代	20～40代	20～40代
150	150	150	158	158	134	150	136	150	150	150	150	150	150	157	157

<ウェイトバック補正後の本調査サンプル構成(全体構成比)>

80	36	15	77	39	9	11	14	489	328	289	436	216	202	70	87
(3.3%)	(1.5%)	(0.6%)	(3.2%)	(1.6%)	(0.4%)	(0.4%)	(0.6%)	(20.4%)	(13.7%)	(12.1%)	(18.2%)	(9.0%)	(8.4%)	(2.9%)	(3.6%)

利用者・計:282サンプル(11.8%)

非利用者・計:2,118サンプル(88.2%)

※ウェイトバックによる補正をおこなっているため、補正後サンプル数に小数点が発生していますが、四捨五入して整数表記をしています。そのため、サンプル数の合計と誤差が生じておりますが、ご了承ください。 人口構成比算出元データ 平成27年総務省統計局国勢調査より

■過去実施調査(2017年調査/2018年調査)

【調査方法】	2018年調査	1次調査						2次調査					
	2017年調査	インターネットによるアンケート調査						インターネットによるアンケート調査					
【調査期間】	2018年調査	2018年5月14日(月)～2018年5月22日(火)						2018年5月24日(木)～2018年6月6日(水)					
2017年調査	2017年5月16日(火)～2017年5月23日(火)						2017年5月19日(金)～2017年5月23日(火)						
【調査対象者】	2018年調査	全国の20～49歳の男女						<共通条件> 全国の20～49歳の男女で現在独身者(1次調査回答者) <個別条件> ・婚活サービス利用者(現在利用者・過去利用者):直近3年以内に婚活サービスを利用したことがある人 ・婚活サービス非利用者:婚活サービスを利用したことがなく、「恋愛意向」もしくは「結婚意向」がある人					
2017年調査	50,000サンプル						2,400サンプル						
【有効サンプル数】	2018年調査	50,000サンプル						2,400サンプル					
2017年調査	50,000サンプル						2,400サンプル						

利用者								非利用者							
結婚経験なし						結婚経験あり(死別・離別)		結婚経験なし				結婚経験あり(死別・離別)			
子なし						子あり		子なし				子あり			
男性			女性			男性	女性	男性		女性		男性		女性	
20代	30代	40代	20代	30代	40代	20～40代	20～40代	20代	30代	40代	20代	30代	40代	20～40代	20～40代
150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150

<2018年本調査回収サンプル構成>

150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

<2018年調査補正後の本調査サンプル構成>

53	26	11	58	28	5	6	5	508	338	292	449	226	209	88	98
(2.2%)	(1.1%)	(0.5%)	(2.4%)	(1.2%)	(0.2%)	(0.3%)	(0.2%)	(21.2%)	(14.1%)	(12.2%)	(18.7%)	(9.4%)	(8.7%)	(3.7%)	(4.1%)

<2017年本調査回収サンプル構成>

100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	250	250
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

<2017年調査補正後の本調査サンプル構成>

38	26	9	54	29	6	6	5	528	338	290	456	226	204	27	61
(1.6%)	(1.1%)	(0.4%)	(2.2%)	(1.2%)	(0.2%)	(0.2%)	(0.2%)	(22.0%)	(14.1%)	(12.1%)	(19.0%)	(9.4%)	(8.5%)	(1.1%)	(2.6%)

※2019年調査と同様にウェイトバック集計をおこなった。人口構成比算出元データは2019年調査と同様に平成27年総務省統計局国勢調査

<その他>

※P4下のグラフは2019年調査(2018年婚姻)より集計方法を変更しています。同条件とするために、2018年以前調査を過去に遡及して再集計をおこなった為、昨年までの公表数値と異なります。

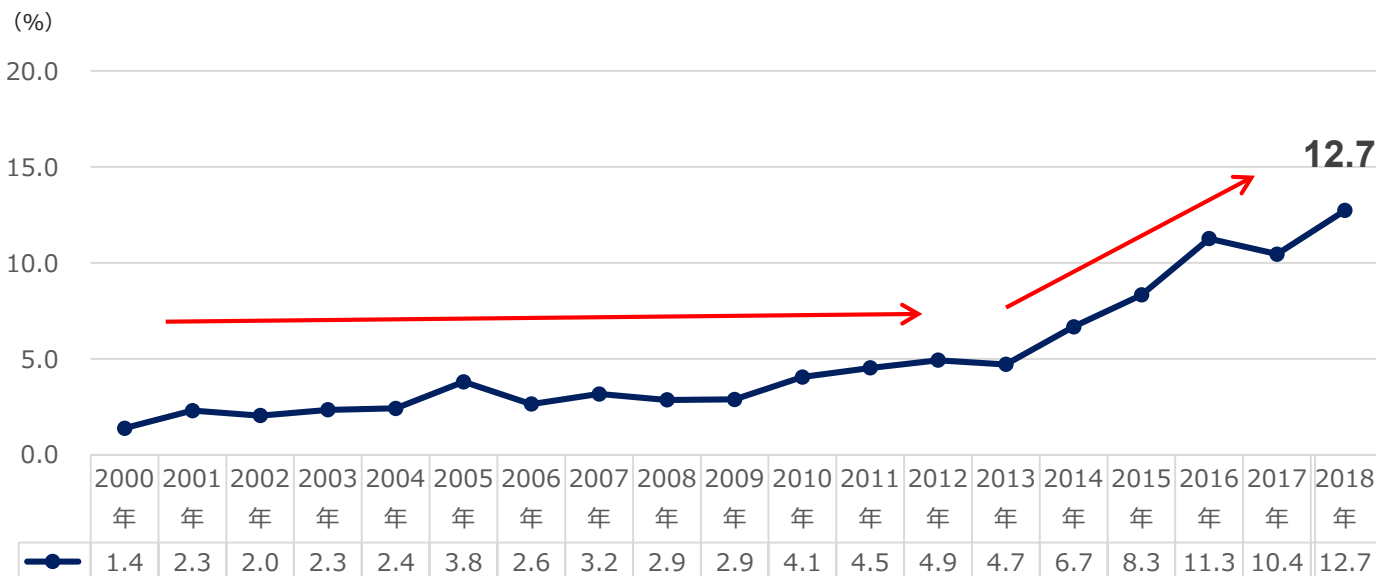
※小数第二位を四捨五入している関係で、差分や合計値において、グラフ上の数値の単純計算と数値が異なる場合があります。

婚活サービスを通じて結婚した人の割合

2018年婚姻者のうち、婚活サービスを通じて結婚した人は12.7%と過去最高に。
中でもネット系婚活サービスを通じて結婚する割合の増加が特徴的。

■婚活サービスを通じて結婚した人の割合(各年に結婚した人/1次調査より/単一回答)

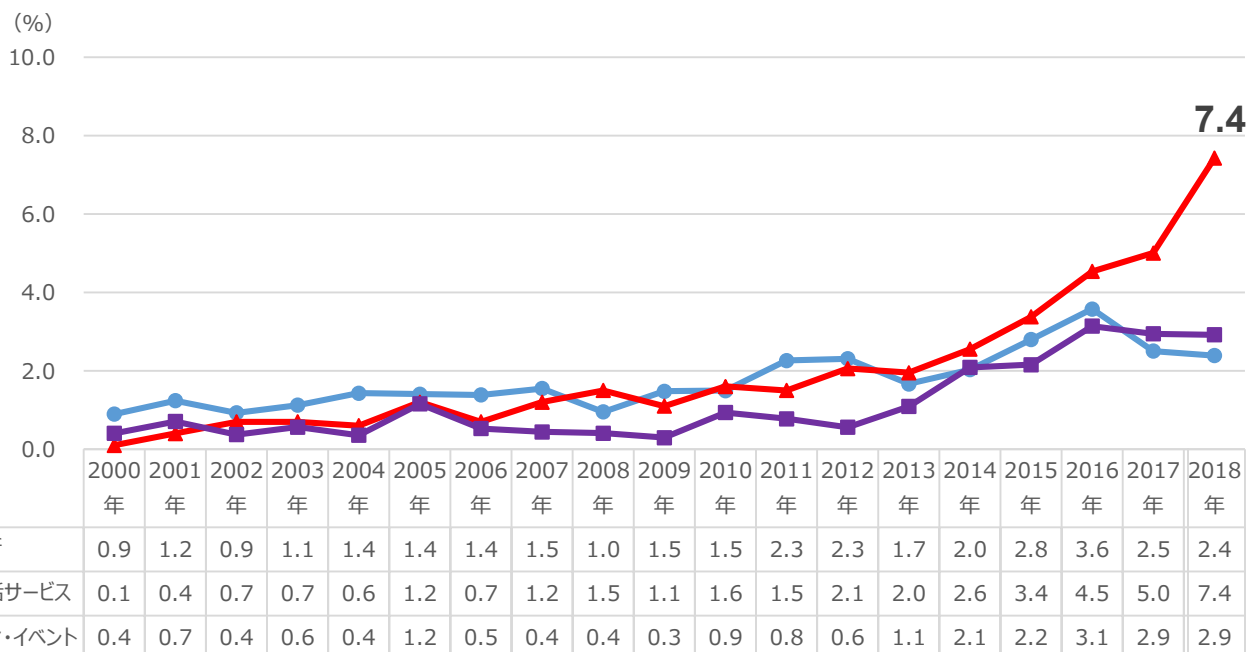
※婚活サービス：結婚相談所、ネット系婚活サービス、婚活パーティ・イベントの3サービス
 ※婚活サービス（3サービス）のいずれかを利用し、そのサービスで「結婚できた」と回答した人の割合
 ※既婚者：初婚者および再婚者も含む



【婚姻年】

※婚姻年2015年以前は「婚活実態調査2016」、
2016年は「婚活実態調査2017」、
2017年は「婚活実態調査2018」より

■婚活サービスを通じて結婚した人の割合(婚活サービスごと/各年に結婚した人/1次調査より/単一回答)

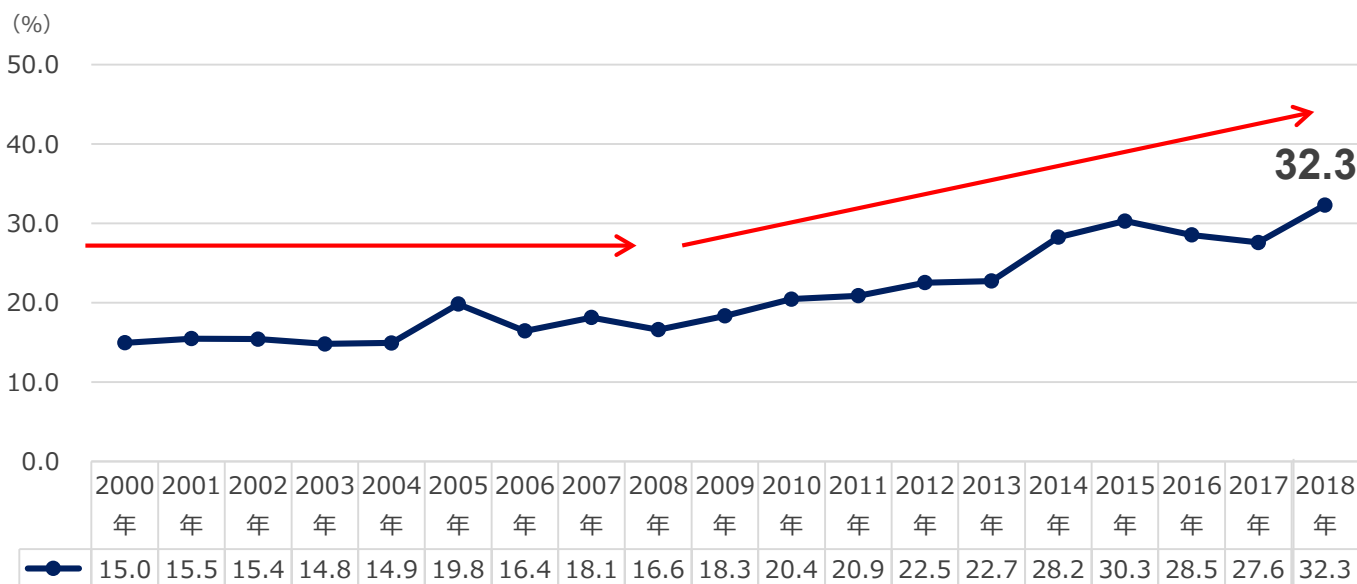


【婚姻年】

※婚姻年2015年以前は「婚活実態調査2016」、
2016年は「婚活実態調査2017」、
2017年は「婚活実態調査2018」より

2018年婚姻者のうち、婚活サービスを利用していた人は32.3%と過去最高に。
さらに、婚活サービス利用者に限ってみると、婚活サービスを通じて結婚した人の割合は39.4%と引き続き高い水準を維持。

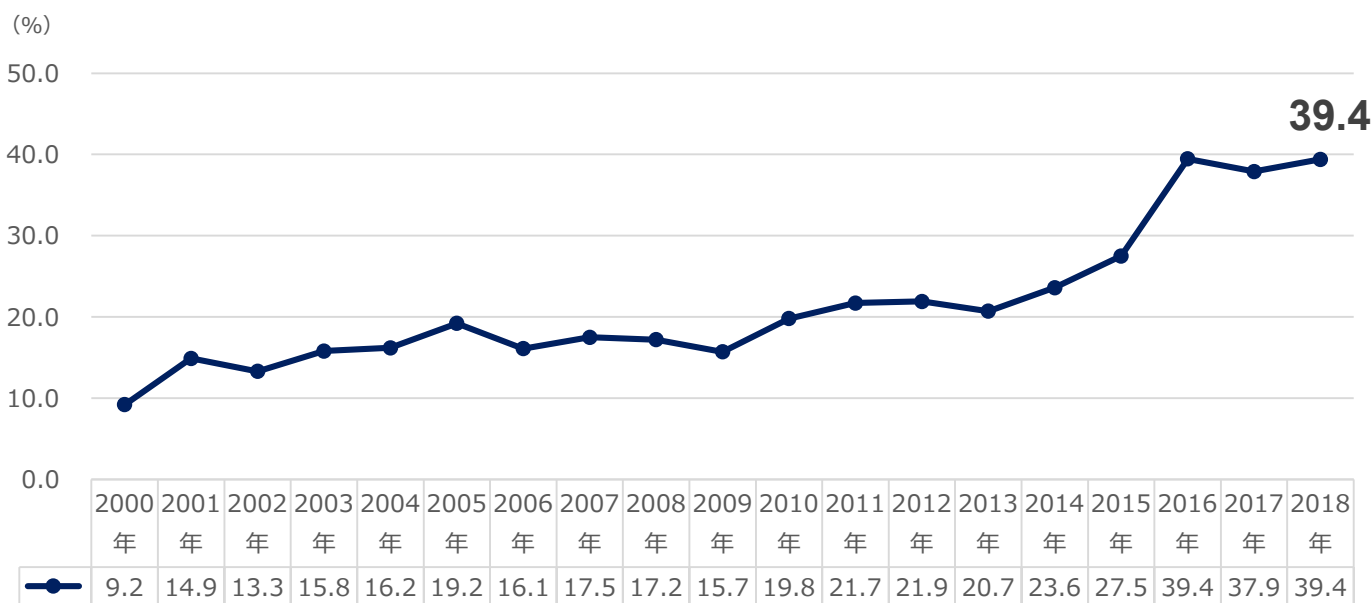
■婚活サービスを利用していた人の割合(各年に結婚した人/1次調査より/単一回答)



【婚姻年】

※婚姻年2015年以前は「婚活実態調査2016」、
2016年は「婚活実態調査2017」、
2017年は「婚活実態調査2018」より

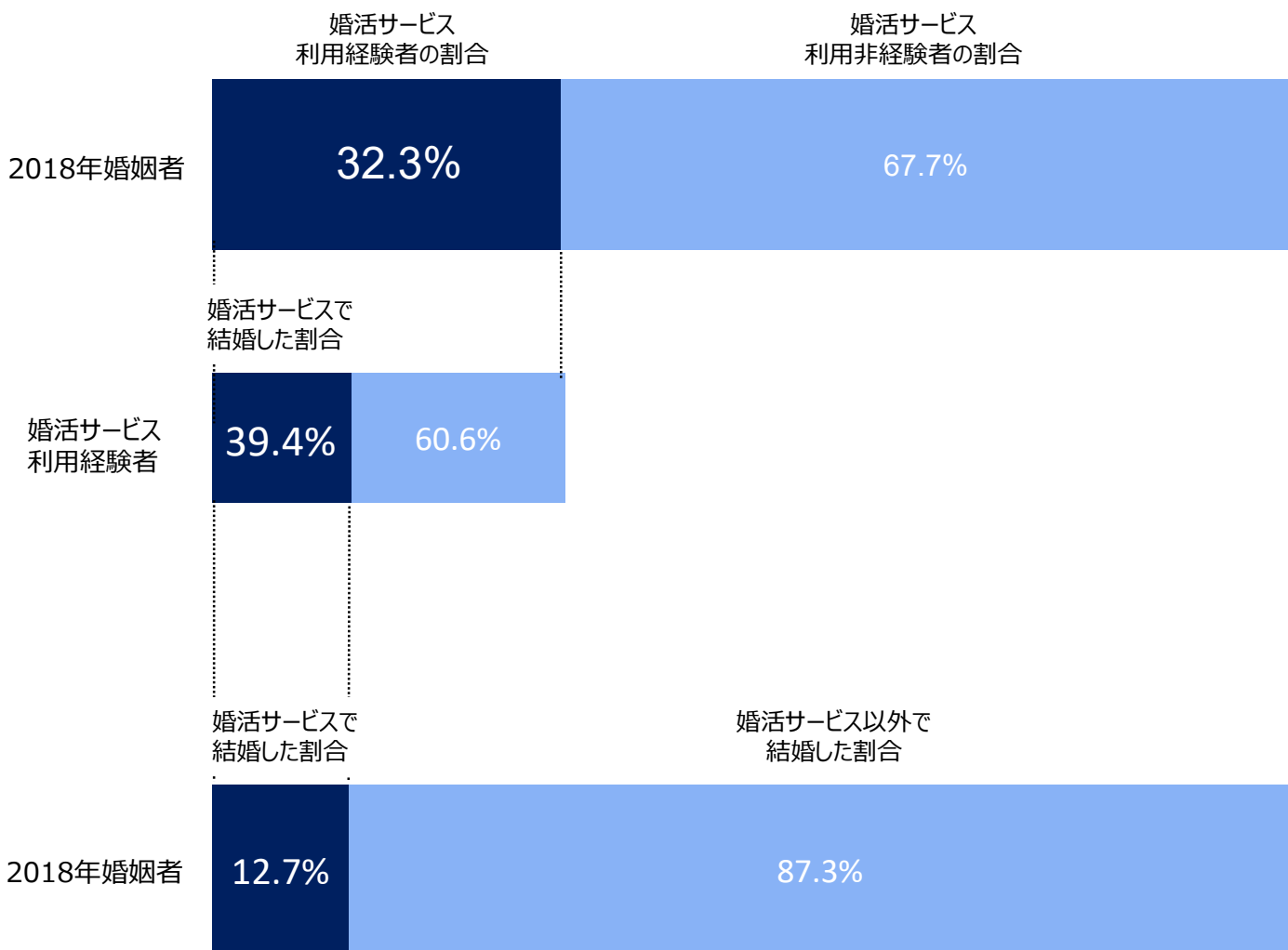
■婚活サービスを通じて結婚した人の割合(各年に結婚した人のうち、いずれかの婚活サービス利用者/1次調査より/単一回答)



【婚姻年】

※婚姻年2015年以前は「婚活実態調査2016」、
2016年は「婚活実態調査2017」、
2017年は「婚活実態調査2018」より

【P3・4 : 2018年婚姻者のうち婚活サービスを通じて結婚した人の割合構造】

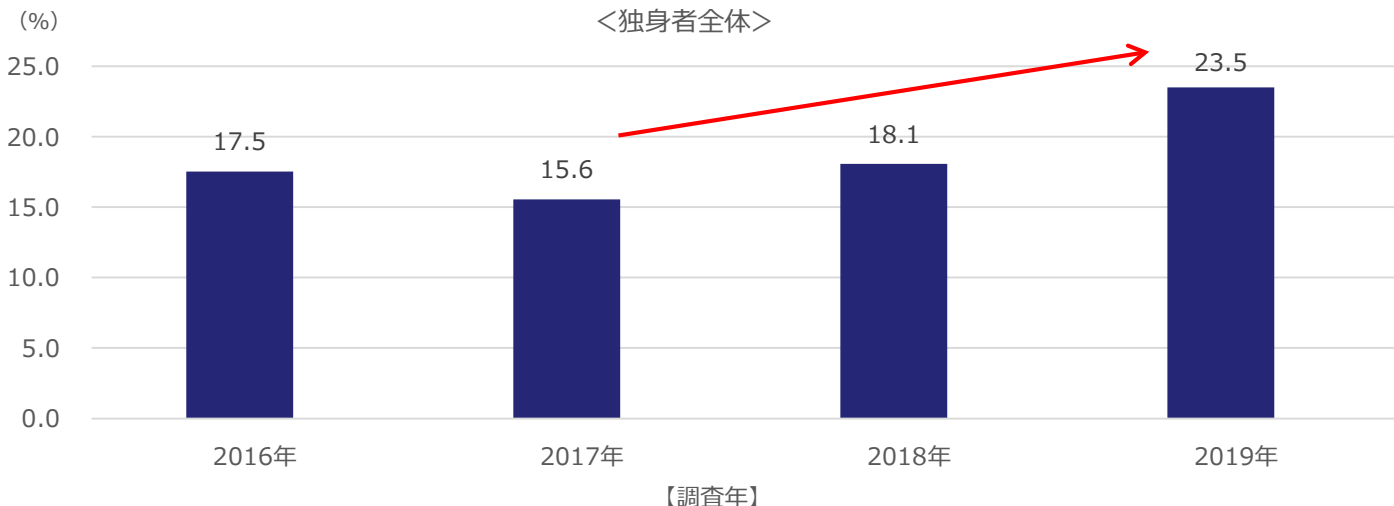


独身者の婚活サービスの利用状況(全体・性年代別)

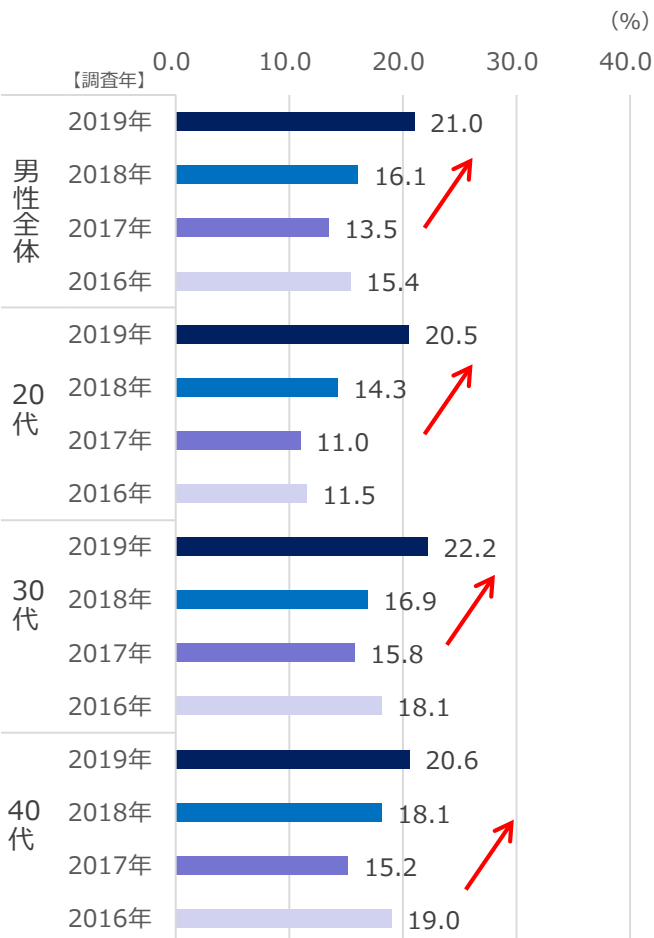
婚活サービス利用経験割合は23.5%と約4人に1人が婚活サービス利用経験があり、2017年調査より増加。
(2017年15.6%→2018年18.1%→2019年23.5%)
いずれの性年代においても利用経験割合が増加していることが特徴的。

■婚活サービスの利用経験割合(恋愛もしくは結婚意向がある恋人のいない独身者/1次調査より/単一回答)

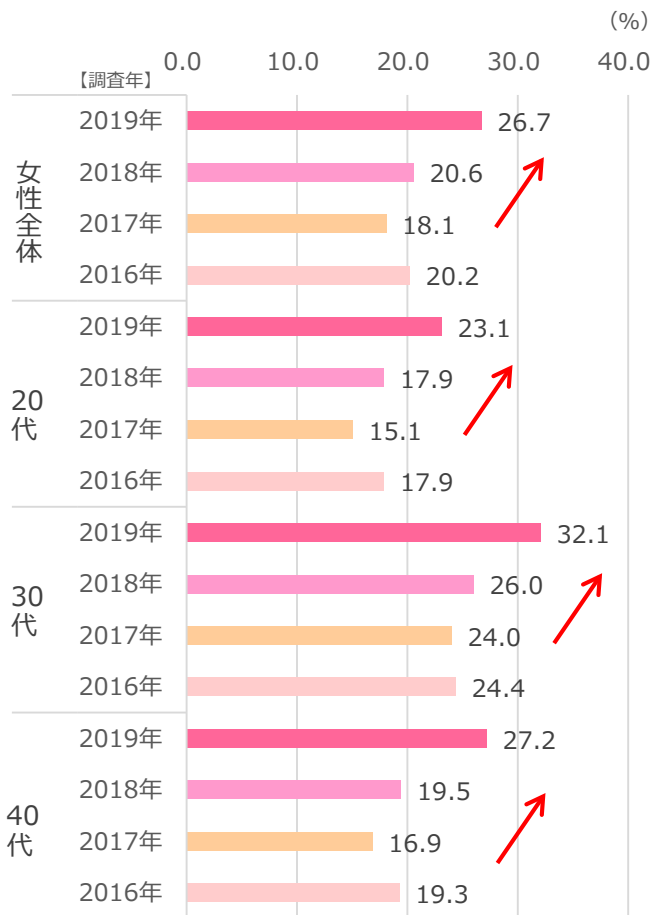
※独身者:結婚経験のない未婚者および結婚経験のある(死別・離別の)現在独身者



＜男性＞

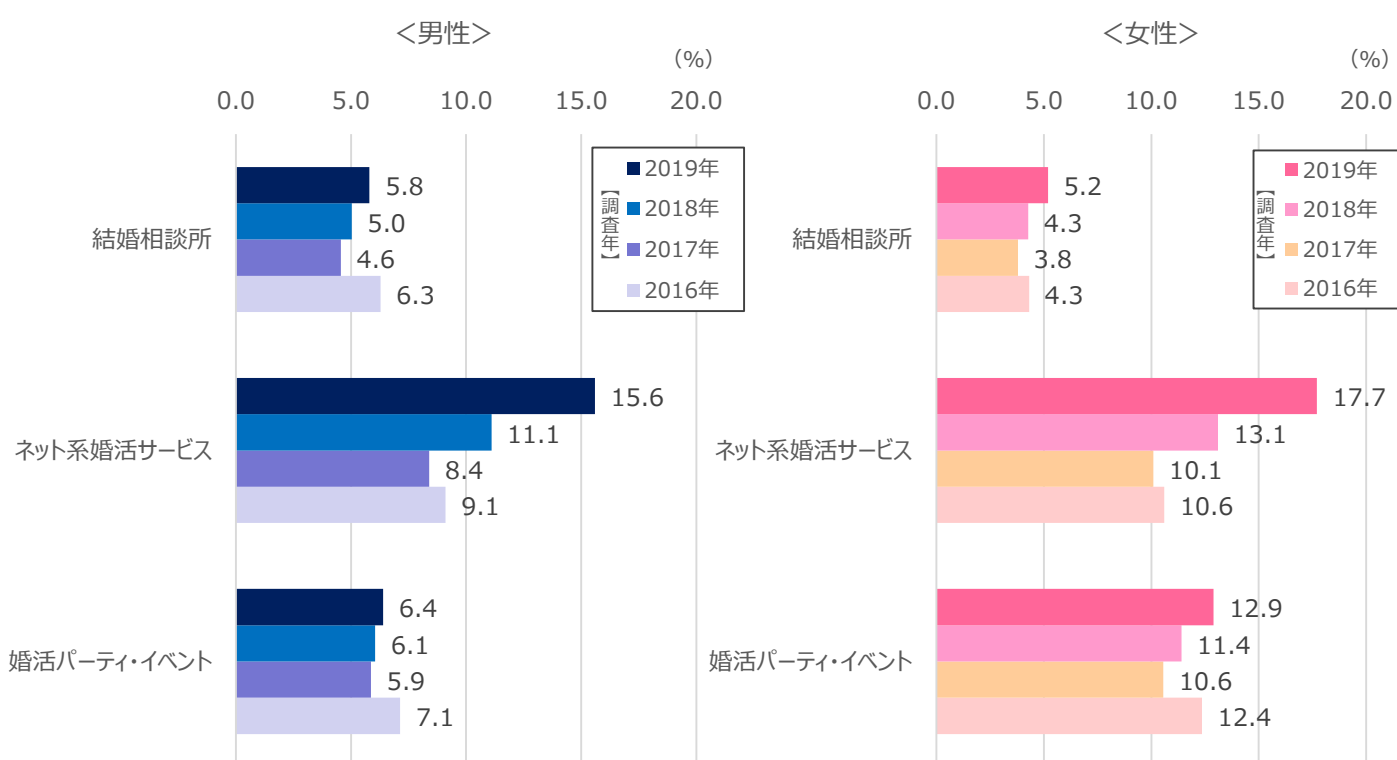
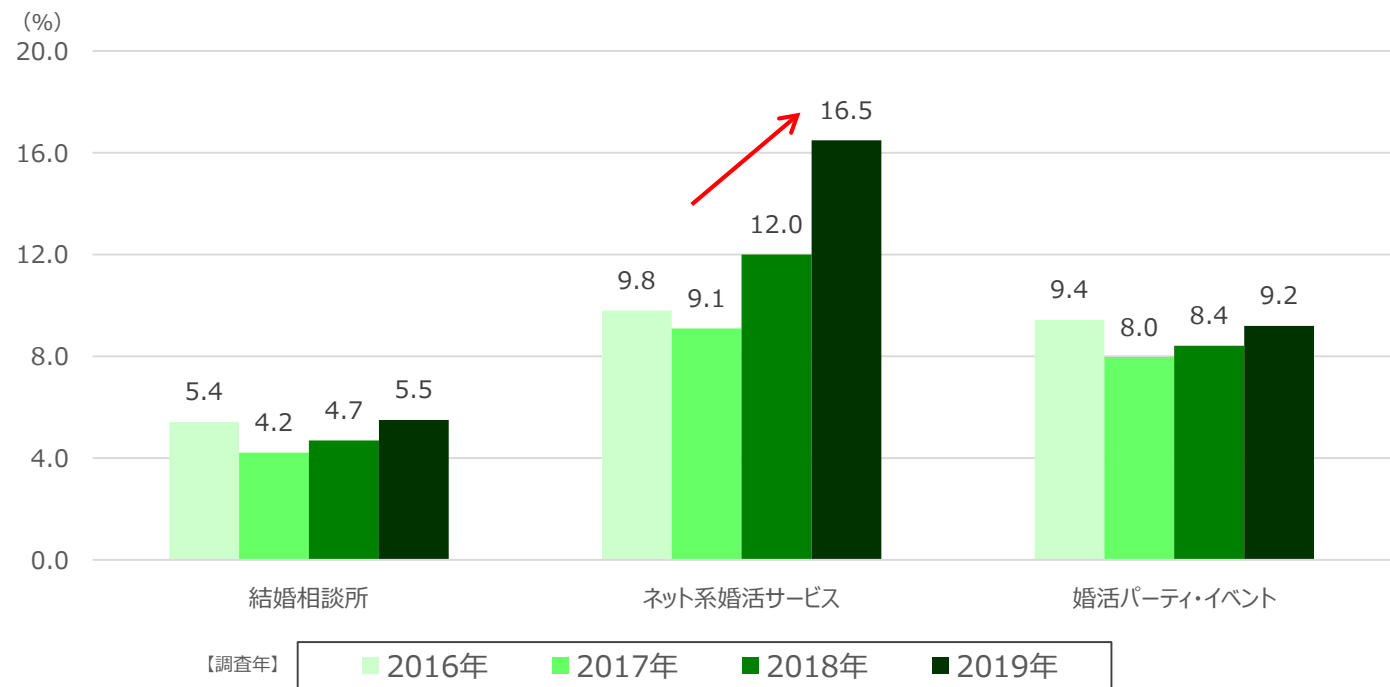


＜女性＞



婚活サービスごとに利用経験割合をみると、ネット系婚活サービスが伸長し、全体を底上げしている。

■各婚活サービスの利用経験割合(恋愛もしくは結婚意向がある恋人のいない独身者/1次調査より/複数回答)



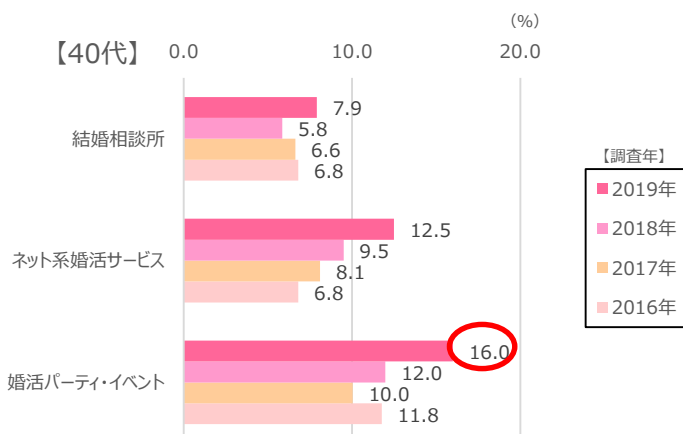
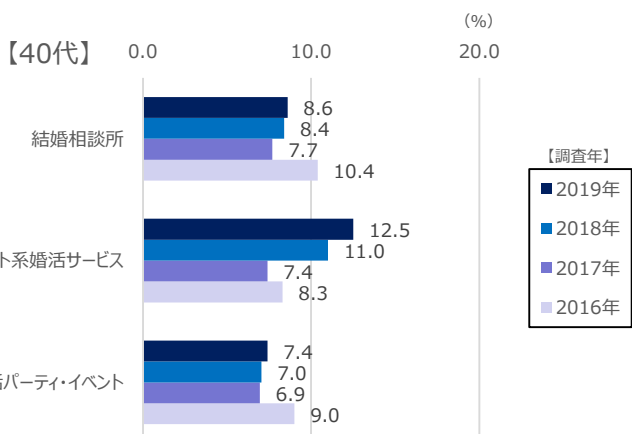
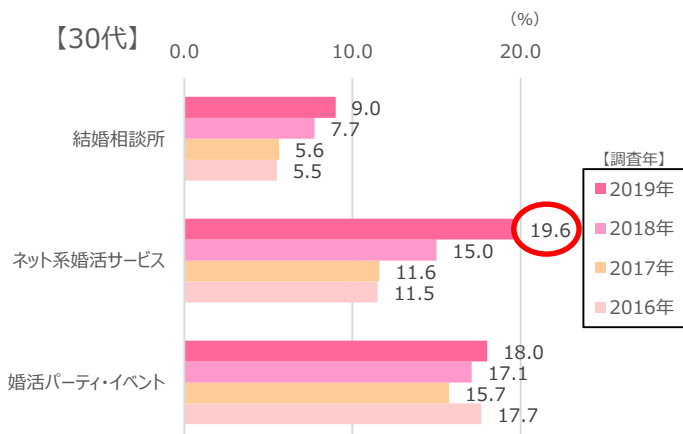
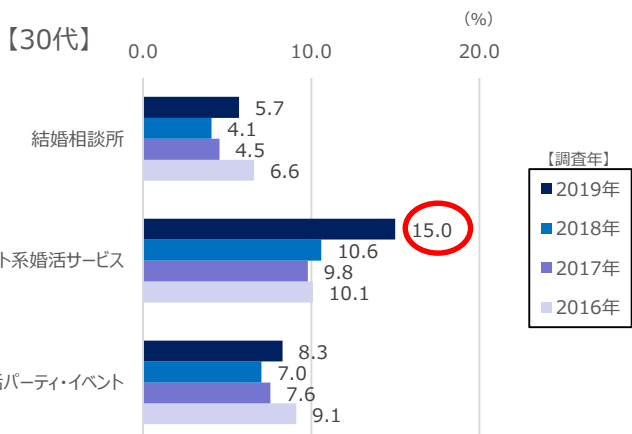
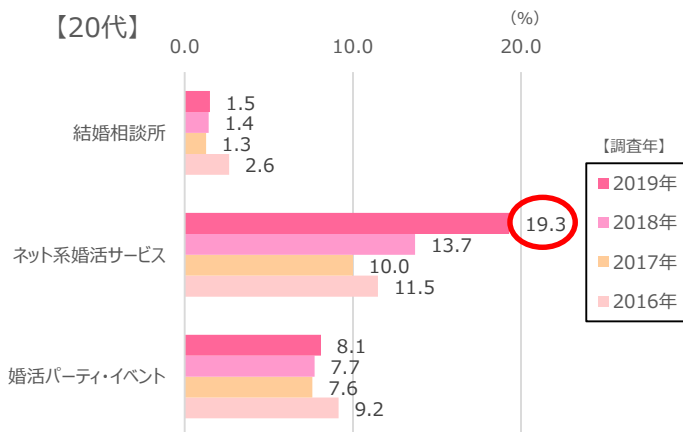
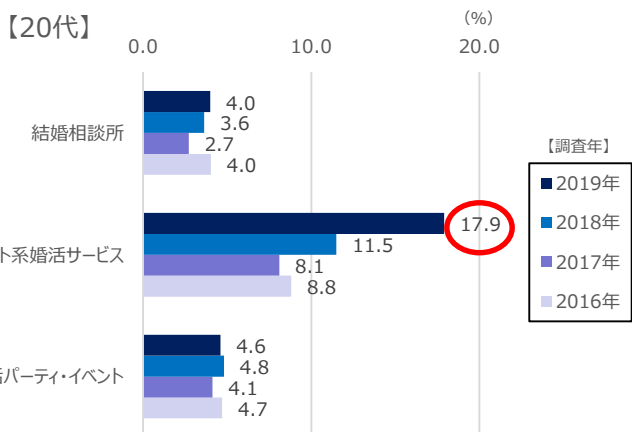
独身者の婚活サービスの利用状況(サービス別×性年代別)

婚活サービスごとに性年代別の利用経験割合をみると、20代・30代で男女ともネット系婚活サービスが他の婚活サービスと比較しやすい。一方で、40代の女性においては、婚活パーティ・イベントの利用経験割合が他のサービスと比較しやすい。

■各婚活サービスの利用経験割合(恋愛もしくは結婚意向がある恋人のいない独身者/1次調査より/複数回答)

<男性>

<女性>

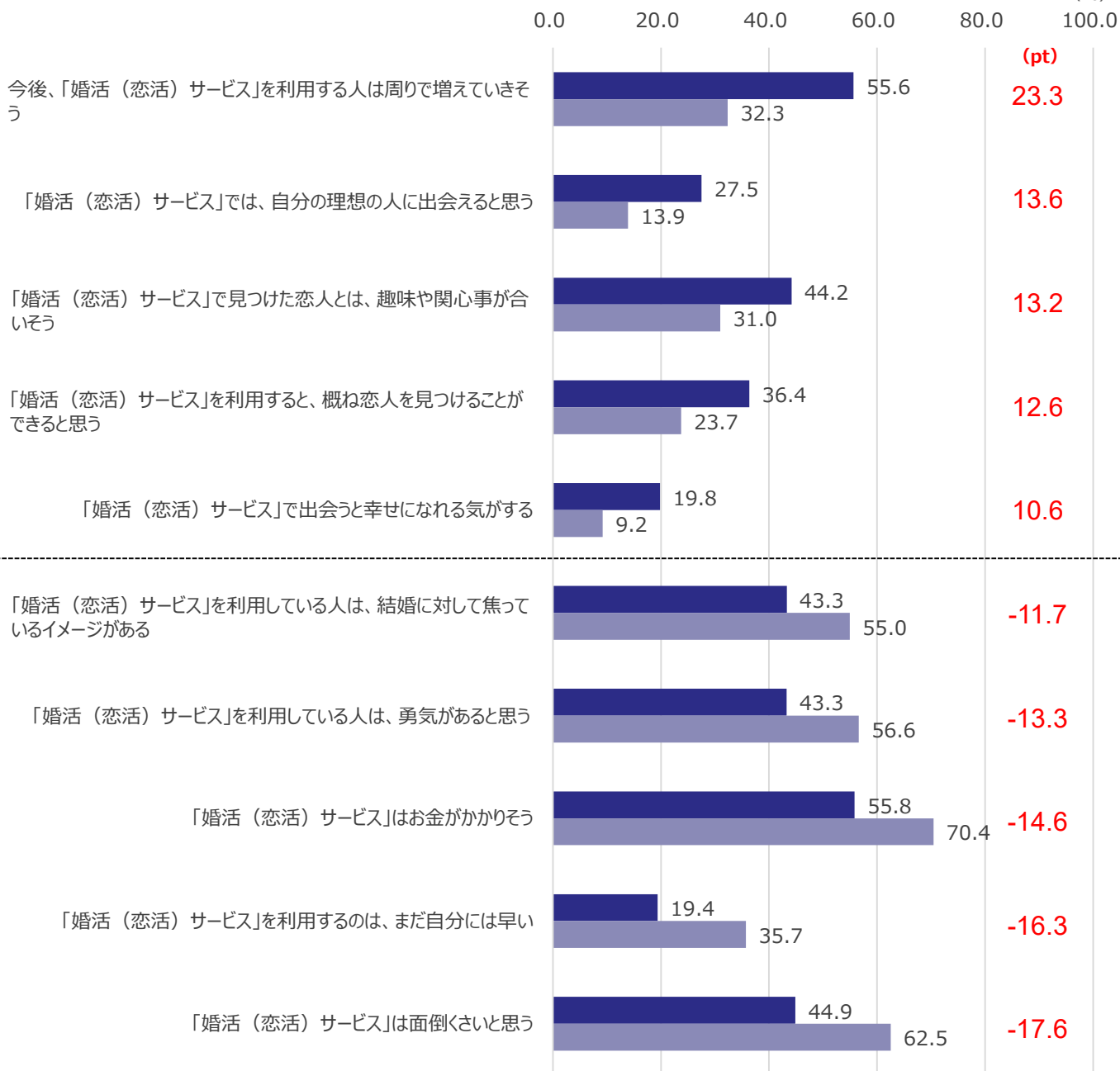


独身者の婚活サービスに対するイメージ(利用経験別)

婚活サービスに対するイメージは利用経験者と非利用経験者で差がみられる。婚活サービス利用経験者は、非利用経験者と比較し、「今後、婚活(恋活)サービスを利用する人は、周りで増えていきそう」など、前向きに捉えている割合が高い。一方で、非利用経験者は「婚活(恋活)サービスは面倒くさいと思う」など前向きではない割合が高い。

■婚活サービスの現在のイメージ(婚活サービス利用経験別/2次調査より/単一回答/26項目中ポイント差の上位5項目および下位5項目を抜粋)

※「非常にあてはまる」・「あてはまる」の合計 (%)



■婚活サービス利用経験者 ■婚活サービス非利用経験者

※赤字はポイント差 (pt)
※差の降順でソート

独身者の各婚活サービスの利用頻度(成功状況別)

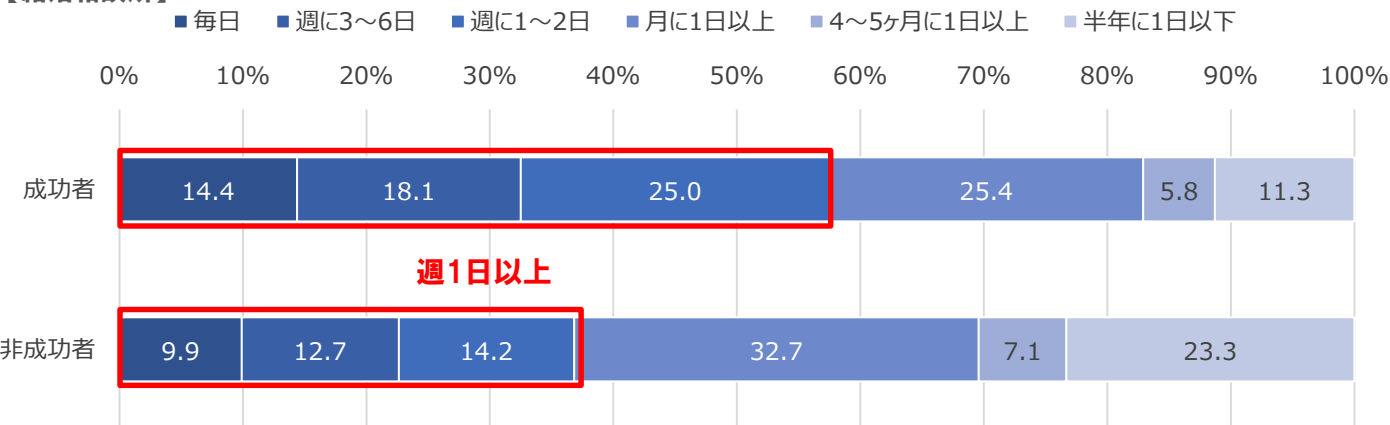
婚活サービス利用者の中で成功(※)した層はどの婚活サービスにおいても利用頻度が高い。
 利用頻度の高さとは婚活サービスにおける成功は関係が深い。

※成功とは「恋人ができた」「婚約できた」「結婚できた」のいずれか

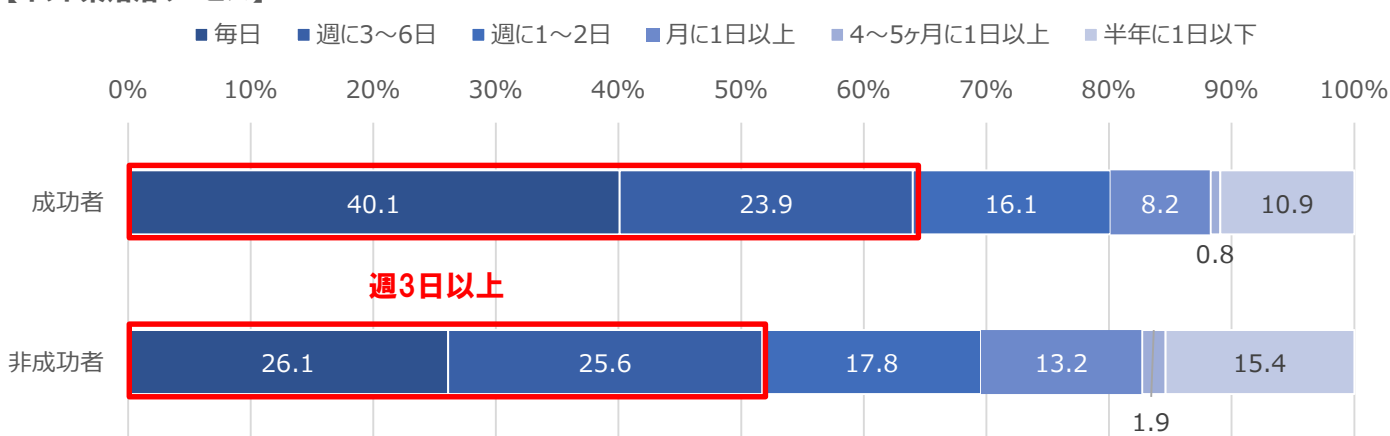
■各婚活サービスの利用頻度(婚活サービス利用経験のある恋愛もしくは結婚意向のある独身者/2次調査より/各婚活サービス利用による成功・非成功別/単一回答)

※成功とは「恋人ができた」「婚約できた」「結婚できた」のいずれか

【結婚相談所】



【ネット系婚活サービス】



【婚活パーティ・イベント】

